

## 編集後記

皆様、お久しぶりです。前編集幹事の諸田です。お元気でしょうか。

今回、私が編集後記を執筆しているのは遊星人をご愛読いただいている皆様にお詫びをしなければならぬからです。まずは遊星人23巻2号と3号が手元にある方をご覧ください。何か違和感を感じましたでしょうか。問題に気がついた方は原稿をチェックする才能、つまり、編集幹事の才能に恵まれた方です。

実は、23巻2号の終わりが176ページ、3号の始まりが275ページとなっていました。何とページが98ページも飛んでしまっていたのです。かつて98ページも飛んだ雑誌がありましたでしょうか。私が知る限り遊星人だけです。これは編集幹事のミスです。皆様に

は混乱を与えてしまい、申し訳ありません。心よりお詫び申し上げます。23巻2号の編集後記で「致命的なミスをせずにこなせている」と書いているのをみると恥ずかしい限りです。この時に戻って、編集後記を書いている自分を思いっきり殴ってやりたいです。「目を覚ませ!」と。

さて、この原稿を執筆している7月下旬の名古屋は茹だるような暑さで気を失いそうです。先日、久しぶりにプールにいった泳いできました。100m泳いだだけで息が切れ、もうダメかと思いました。なんとか秋季講演会までには身体を作っておくようにいたします。(諸田)